

1 基本情報

事業名称	学校に行きづらい子どもがいる保護者のピアカウンセリング事業			
事業目的	学校に行きづらい子どもをもつ保護者が、悩みや困りごとを共有しながら、子どもとの関わり方や情報を得ることができる場をつくる。			
事業概要	学校法人八洲学園と西区役所が締結した事業連携協定に基づき、学校に行きづらさを感じている児童生徒の保護者を対象とした「ともに考える保護者の会」を開催。 心理職等の講師を招聘し子どもへの寄り添い方、見守り方、関わり方等保護者が学べる場の提供と同じ悩みを持つ保護者同士が交流できる場を提供。			
実施主体		実施場所		実施時期

2 設定指標

活動指標	「学校に行きづらい子どもがいる保護者の会」開催回数		R4	R5	R6	R7
		目標				3
		実績				3
成果指標	実施後アンケートの参加者の満足度（非常によかった・よかった）80%以上		R4	R5	R6	R7
		目標				80
		実績				100

3 事業評価

決算額 124,800 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
学校に行きづらい児童は年々増加しており、その要因は多様化、複雑化している。西区で不登校問題に取り組んでいる八洲学園、福祉協議会と協同することで、市民に地域資源の提供を行えている。		講演会・交流会を3回実施 参加者：計56人 対象は、学校に行きづらい子どもがいる保護者であるため、参加者数は妥当である。		令和7年度は交流会形式や、講演形式、元不登校経験者の体験談など、様々な手法で3回実施。いずれもアンケート結果では満足度は高く、またテーマとして「子どもへの関わり方」や「保護者のメンタルヘルス」、「子どもの進路のこと」がニーズとして高いことが分かった。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	◎	④区の計画への寄与度	－	八洲学園高等学校をはじめ、地域の学校に行きづらい子どもの居場所運営団体との連携することにより、区役所では不足している、不登校支援に対するノウハウも共有することができた。		
長年不登校問題に取り組んでいる、学校法人八洲学園の協力や、社会福祉協議会、地域の学校に行きづらい子どもの居場所運営団体と連携して実施。						

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	地域の情報が行き届かない保護者に対し、情報発信の方法や保護者の会への参加促進が課題となっている。	今後の方向性	継続
対応方針	学校に行きづらい子どものいる保護者を見聞きや相談を受けることが多い地域の支援者に向けて、情報を提供する。		